

# 依存症井戸端会議 ～こんなときどうするの？Part2～

何度「やめよう」と話し合っても、飲酒や薬物使用を繰り返す相手に失望していませんか？

私のかかわり方が悪いのではと無力感を覚えていませんか？

依存症の回復支援に携わっていると、時に本人の言葉を信じるができなくなり

回復への希望を見失うことがあります。

なぜやめると言ったのにやめないのか。なぜ言っていることとやっていることが違うのか。

そもそも依存症の回復って何なのか。

そんなことを仲間と一緒に考えてみませんか。

## 【第2回】

第2回の開催日と会場が  
変更になりました！

平成26年11月22日(土)13:00～16:30

金沢勤労者プラザ 103 研修室 (金沢市北安江 3-2-20)

『薬物依存症からの回復における主体性と変化の過程』

講師：ひろこさん (京都ダルク)

小島典子さん (京都ダルク 女性ホーム・ワイオリ 責任者)

加藤武士さん (木津川ダルク代表)

「危険ドラッグ」についても最前線のお話をさせていただきます。

## 【第3回】

平成26年12月13日(土)13:00～16:30

近江町交流プラザ 集会室 (金沢市青草町 88 近江町いちば館 4 階)

『薬物依存症の子どもを抱えて』

講師：小西憲さん (新潟県薬物依存症者を抱える家族の会)

『家族の回復 ～幸せのかたちとは～』

講師：橋本直子さん (ソーシャルワーカー・福井県立大学講師)

いずれも参加無料  
申込み要

### 【プログラム】(2・3回共通)

12:30 受付  
13:00 講演  
15:00 井戸端会議、わかちあい  
16:30 終了予定

参加ご希望の方は、お名前、所属先、職種、電話番号、2・3回とも、またはどちらかのみ参加かを明記し、下記までメールでお申し込みください。定員30名に達し次第締め切ります。\* 特定の所属、職種に偏らないように調整させて頂くことがあります。

harp\_kanazawa@yahoo.co.jp

(件名を『井戸端会議申込み』として下さい)

受付が完了し次第、必ずご返信させていただきます。万が一、返信がない場合、またどうしてもメールでの申し込みができない場合には、問い合わせください。

### ひろこさん

栃木シェルター・横浜マックまゆの家を利用。計5回の入院をする。3ヶ月の薬物連続使用で京都ダルクにつながる。現在 アルバイトをし、生活をしている。

### 小島典子さん

薬物依存症者当事者。2000年茨城ダルク「今日一日ハウス」につながり、博多マック女性ハウス、アロー萌木を利用。のちに栃木県女性シェルター茨城に就職。ダルク女性シェルターとちぎと名称を変え施設長として勤務。2012年京都 DARC に就職。同年9月京都 DARC 女性ホーム・ワイオリが関所、現在責任者。

### 小西憲さん

1998年頃、子どもの覚せい剤使用を知る。その後ダルクや他県の家族会につながり、薬物依存症という病気や対応の仕方を学ぶ。2002年新潟県薬物依存症者を抱える家族の会を設立。2家族3人から始め現在は常時10家族以上の参加がある。夫婦で小学校から大学、保健所、保護観察所、刑務所等へのメッセージ活動を行っている。

### 加藤武士さん

1983年より大麻を吸引、以後10年近くあらゆる薬物を使用。精神科病院にも10数回の入院歴を持つ。1992年薬物依存回復者と出会い、新しい生き方を始める。京都マック、横浜ダルク、大阪ダルク、沖縄ダルクを利用する。2000年大阪ダルク就職、2000年京都ダルク設立。2013年アパリアウエストを新設、京都府にて木津川ダルク設立、現在施設長

## speaker profile

### 橋本直子さん

1997年より新阿武山クリニックにソーシャルワーカーとして勤務。2010年より福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科講師

【所属学会】

2010年～日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会理事

2011年～日本アルコール関連問題学会評議員

Hokuriku  
Addiction  
Recovery  
Partners

主に北陸地方(富山・石川・福井)で  
アディクション(嗜癖)問題を切り口に  
回復と自分らしい生き方を試行錯誤する  
多才な仲間たちをつないでいきます

HARP (ハープ) とは

HARPは依存症の回復支援を切り口に、地域の多様な課題に対し、様々な能力、技能、経験、意欲、関心を持つ人材が、既存の枠組みを超えて連携し、自由な発想で新たなツールを創造するプロジェクトです。

2010年末に始動後、様々な分野の仲間が、思いがけないきっかけで緩やかにつながり始め、2013年5月11日には初めてのフォーラムを開催することができました。そして2013、2014年度と金沢市の『協働のまちづくりチャレンジ事業』に採択して頂き、『依存症井戸端会議』の開催にこぎつけました。これからもより多くの方と出会い、そのつながりを大切に、「いま私たちにできること」に取り組んでいきます。